

聖霊降臨後第 18 日（宗教改革記念日）

2025 年 10 月 26 日

風のように

甘木教会

主任牧師：白川道生

牧会委嘱牧師：竹田孝一



イエスは、御自分を信じたユダヤ人たちに言われた。「わたしの言葉にとどまるならば、あなたたちは本当にわたしの弟子である。あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。」
ヨハネ 8：31－32

【説教要旨】

今日は私たちルーテル教会の誕生の日です。ルターがウィッテンベルク城教会で 95 ヶ条の提題を張り、贖宥券について問うたことから始まりました。しかし、はっきりとルターが座標軸を決めたのは 1521 年 4 月 18 日のウォルムス帝国議会の二日目のあの有名な言葉からすべてが始まったのではないのでしょうか。

「われここに立つ、他はなしあたわず。神よ、助けたまえ。
アーメン」

このルターの言葉に対して時の神聖ローマ帝国皇帝カール五世は、秘書官の手をわずらわせず、異例の自らの言葉で「私は、もうこれ以上彼に関わりたくない。彼は通行保証を受けて帰るがよい。だが、説教したり、いかなる騒ぎをおこしたりしてもならない。私は、彼を隠れもない異端者として訴え、諸君が私に約束したとおりに自己の意見を公にすることを、諸君に求める」と結ぶのです。5 月 8 日ルターに「帝国追放」の処罰がくだされるのです。

宗教改革日になぜヨハネ 8 章のこの言葉が読まれるのでしょうか。私たちの教会が、ここに集う私たちが、どこの座標軸に立つかということです。

「わたしの言葉にとどまるならば、あなたたちは本当にわた

しの弟子である。あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。」

「わたしの言葉にとどまる」ということです。私という力、ましてや皇帝の権力でもなく、人間の絶対的なもろもろの力のうちに私たちがとどまるのではないのです。ルターは「私は私の引用した聖書のみ言葉によって支配されています。私の良心が神の言葉によって捉えられているかぎり」と言います。「神の言葉によって捉えられている」、まさに「わたしの言葉にとどまる」ことであり、「本当にわたしの弟子である。」という恵みが私たちに与えられるのです。ルターが私たちに与えてくれたのは、キリスト者が「本当にイエスの弟子となる」という人生の方向性ではないでしょうか。そしてこの座標軸の原点、「われここに立つ」とは、帝国議会の床ではなく、「わたしの（イエスの、神の）言葉」であるということです。

「あなたたちは真理を知り」。何を知るか。「真理」です。「真理」とは『アーメン』という言葉です。その通りですというダイヤモンドのように固い確固たるものであるということです。

神の真理、ヨハネが示す真理とは、愛、神の恵みである。真実に今、教会が、私たちが、立つのは神の真理、神の愛、恵みに立つのです。

パウロの言葉に「恐れおののきつつ」とあります。「神に対する『恐れおののきつつ』は、神に対して自分を主張することの不可能なことを知る人間の姿勢である。……救いは神の恵みによって可能になる。人間は自分の力で救いを確保することはできない。この事実の前に服すること、それがここである『恐れおののきつつ』である。」と佐竹先生は解釈しています。人は神の真理を前にして自分にある力、能力……特別なものを捨てること、「**YOU ARE NOT OK あなたは大丈夫じゃない**」ということを知ることによってすべてから解放され、自由にされていくのです。ルターも自分の力で自分が義しいものとなるのではなく、自分を神の前に捨てて、神の恵みによって信仰を通して自分が義しい者とされる「**YOU ARE OK あなたは大丈夫**

である」ことによって自由にされるのだということをいうのです。ルターがいうように「神の乞食」、神の前において、力なき存在として神の恵みをいただき生きるとき私たちは真実を生きられるということです。ここに私たちの生き方があるということです。フィリピの信徒への手紙で「わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です。4:13」です。「わたしを強めてくださる方のお陰で、」というように罪人であるのにもかかわらず他ならない私をキリストの十字架によって赦してくださった神の義によって、お陰で、有り難い恵みによって、私たちは「わたしにはすべてが可能です」となるということです。この福音の信仰において自己自身から解放され、真の自由をもつのです。ルターが時の大きな権力に抗しても、たとえ一人になっても、「われここに立つ、他はなしあたわず。神よ、助けたまえ。アーメン」と祈ったように全てにおいて、可能とされ、自由になったように。

激動する時代にあって、本当に個々人が生き辛い世が私たちの前にあります。だから、もう一度、宗教改革において示された福音の信仰に私たちの心をむけたいのです。私たちの生きる方向を人の力でなく「**YOU ARE NOT OK**」、神の力、神の義、神の恵み、神の愛に「**YOU ARE OK あなたは大丈夫です**」一神の真理に自分自身を強く向けること、ここに「我ここ立つ」と宣言したルターが示したように真理の前に立ちたいのです。ここに、私たちの自由があるのです。

神の真実、キリストの愛、恵みを信じたルターが厳しい時の変化の中を生ききったように、私たちもルターのように今の時代を生かされ、生きることが出来る恵みの内にあることを忘れず、「**わたしの言葉にとどまるならば、あなたたちは本当にわたしの弟子である。あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。**」というみ言葉の前に常に自分を立たせて、「我、ここに立つ」というルターの言葉を噛み締めていきましょう。

牧師室の小窓からのぞいてみると



今回の自民党と維新の連立政権が成立するまでの過程をみていると昔、英語で、「**statesman**」と「**politician**」という言葉の思い出した。「**statesman**」は尊敬に値する優れた政治家を表し、「**politician**」は政治屋、策士、政略家を表す。

今回は、まさに「**politician**」が国を動かそうとしていることに政治に嫌気がさした。それは、アメリカ大統領をはじめに「**politician**」が世界を動かそうとしている。大変に怖い時代に突入したと思う。

だからこそ、私たちは、もう人に頼ってはいけない世界が明らかになった。だからパウロが言うように「主にあつて堅くたちなさい」という言葉を、強く心にもって、時代を生き抜かないと思う。

「我、ここ(主)に立つ」というルターの言葉を思い起こす。

園長・瞑想？迷走記

子どもたちは、複雑になり、発達特質と言われる支援を必要とする子どもたちが増えてきた。そこで、どうその子に寄り添っていくかということが課題となる。



「ご家族がお子さんの特性に気づかれておれば、保育園・幼稚園、学校関係者らと情報を共有しながら、子ども支援するチームを作ります。子ども特性についての認識を共有し、学校・家庭生活上で困ることが減って、その子の本来持っている良さが発揮できるようにすることが重要です。子どもと共に育つ ～神経発達症診療40年 山下裕史朗」とあるように本園も今、子ども支援チームを作っていこうとしている。

そして、先生は次のように続けます。「忘れていけないのは、『発達障害のある子ども』である前にお子さんが『一人の子ども』であるということです。」と私たちの在り方を示してくれる。

そして、「基本的なことがなかなか獲得できない子どももいますが、スモールステップで焦らず時間をかけて取り組む必要があります」と励ましてくださる。着任して1年半、やっとチームが出来る。

日毎の糧

聖書：神はわたしの避けどころ、わたしの砦。

苦難のとき、必ずそこにいまして助けてくださる。

詩編46：1



ルター言葉から

皇帝陛下や諸侯方が簡単な答えを求めておられるのですから、私は、端的にお答えしましょう。私は聖書の証によって、あるいは明瞭な理性の根拠によって納得させられるのでなければ一というのは、教皇や公会議もまた、しばしば誤りかつ自己矛盾に陥ったことは確かですから私は、それらのみを信じるわけにはいかないのです。一私は私の引用した聖書の御言葉によって支配されています。私の良心が神の言葉によって捉えられているかぎり、私は何ものをも取り消すことはできないしまた取り消そうとも思いません。なぜなら、良心に反して行動することは危険であり、また当をえたものでもないからです。

われここに立つ、他はなしあたわず。神よ、助けたまえ、アーメン。
ウォルムス帝国議会にて。

み言葉に捕らえられて

ルターらしくアインベック・ビールを一気飲みしてからウォルムス帝国議会へと向かったと伝えられています。

彼はウォルムス帝国議会において、自らの信仰の立場をはっきりとさせます。これによって、彼は破門され、帝国追放の刑を受け、命の保証もない危険を敢えて引き受けたのです。

彼をかくも駆り立てたものは、彼の信仰の闘いでした。そして彼が得たものは、「私は私の引用した聖書の御言葉によって支配されています。私の良心が神の言葉によって捉えられている」という、み言葉に立つということでした。ここからすべてが始まり、すべてが終わるというものです。彼は神の言葉に捉われた人だったのです。

祈り：人の力を信賴せず、あなたにみ言葉に生きていく勇気をください。

甘木通信

コヘレトから「悩み、痛み」

知恵が深めれば、悩みもなくなり、知識が増せば幸せになると、ひたすら勉強し、学び続けた。



知恵が深まれば悩みも深まり 知識が増せば痛みもます。
コヘレト1：18

ひたすら知恵を深め、知識が増してきて、コヘレト、知恵者の言うことに抗えない。知恵もなく、知識もなければなんと楽だろうと思うことが生きて、歩んでしばしば思うようになった。

しかし、一方、私は思うようになった。知恵とは、神への知恵であり、知識とは神への知識ではないかと。神の知恵を深めた、神の知識を増した方はイエスさまであつた。イエスさまは、神の知恵を深めれば、深めるほど私たちのために悩まれた。神への知識を増せば増すほどイエスさまは痛まれた。

神の知識を増し、神の知恵を深める私たちイエスさまと歩む者は、悩みを持ち、痛みを持つ者ではないだろうか。イエスさまが私たちの為に悩みを深めたように、私たちのために痛みを持たれたように、隣人、社会の状況に私たちは悩み、痛むことだと思う。

内野牧師は、知的障害児施設「光の子学園」を創設するとき、色々と悩まれ、痛まれていた。東京の官庁に陳情いった帰り、「竹田君、靴が入らなくなり、裸足で帰ったよ。わっは、わっは」とあの痛みは隣人のために悩み、痛んだ「わっは、わっは」であつたと今、思う。

神の知識を増し、神の知恵を深めさせてください。

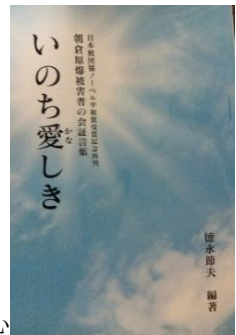
(甘木日記)土)午前中、溜まっている事務作業し、夜に甘木に向かう。泊。日)礼拝、交わり。帰宅。ウェブ関係の改善のために店に。月)日善幼稚園の教育・保育の事始め。Zoomで羽村幼稚園と事務処理。火)冬花壇の準備。秋の冥加出ている。水)受診日を間違い病院に、すぐに幼稚園へ。木)松崎保育園で聖書の学び、子ども礼拝。午後から日善幼稚園、コンサルタント話し合い。金)朝、園庭の掃除、朝礼、大学病院に脳のCT検査。明日の運動会準備と家、幼稚園、病院、幼稚園、体育館と足で。

おまけ・牧師のぐち（続日記）牧師だって神さまの前でぐちります。
ぐちらない聖人（牧師）もいますが。 [redacted] 土)



熱も久しく出ずにいるが、びくびくしている。今日は家で仕事をする。「駅まで迎えにいきましょうか」という配慮の電話をいただく。ありがたい。読んでいただきたい本を持って、夜に甘木教会に向かう。車中で、「星の王子さま」の本が目に入り、読みだすといき惹かれる。「でもぼくが滑稽だと思えないのはあの男だけだ。というのも、あの人は自分のことだけじゃなくて、ほかの人のことも考えているか

ら。」強烈な言葉。日）礼拝出席も少ないが、zoom礼拝に新しい方が出席くださる。帰りに森部信牧師から、朝倉地域の被爆体験者の証の雑誌をいただき、帰って、いっきに読んだ。被爆されたときの想像を絶する苦しみ、生きて戦後を生きるとき、被爆体験を隠して生きる苦しさ。ひしひしと伝わってくる生きた証集。もう一度、原子力ということに深く考えさせられた。月）飼っていたウサギが昨日、死に子どもたちと礼拝をした。命には終わりがあるのだが、終わりでなく神の元に帰るんだということと一緒に感じられたい。昼食の弁当の用意クラスを飛び出してく



る子どもらの世話、発達特質の子どもがどう園で安心することをケース会議。この会議で先生が、「子の幼稚園を知っていたら、この園に入れたかった」という声に嬉しいやら、励まされる。火）体調もよく、冬花壇の準備をする。今、秋の冥加出ている。どうして、こんなに冥加すきなのであろうか。運動会の準備で疲れている先生方に甘いシュークリームを届ける。水）受診日を間違い病院に。この日だ、この日だと自分にいつの間にかきめつけている。これはボケの始まりか。すぐに幼稚園へ帰宅。名古屋の友人が博多に来ているというので、体調も良く、天神に合う。薬剤師、飲んでいる薬を「メジャーライナップ」と言って説明してくれる。木）松崎保育園への礼拝。園庭の小石を集め、それぞれに石には賜物があると。礼拝後、子どもたちが石を持って来てくれる。日善幼稚園にもどり、経営コンサルタント懇談。さて経費をどこからひねり出すか。自腹か。金）今週も熱が出ずに終わる。午前中に園庭を掃除、朝礼に出て、大学病院に脳のCT検査に行き、戻って運動会の準備している体育館まで往復、歩くというやっとな健脚も戻ってきている。明日は運動会。楽しい時間となればと願い、祈っている。今週も、感謝。